

＋ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間の満了により、他の製薬会社でも製造や販売ができるようになり安く提供されるお薬のことです。国による厳しい審査を受けて承認をされているので、**効き目も安全性も先発医薬品と同じ**です。



=



先発医薬品

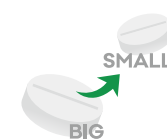
ジェネリック医薬品

❗ 効能・効果や用法・用量は基本的には変わりません。

＋飲みやすく工夫されています！

ジェネリック医薬品には、さまざまな工夫によりお子様でも飲みやすくされているものがあります。

これなら
僕も飲めたよ！



大きくて飲み
づらい錠剤を
小さくして
飲みやすく工夫



カプセル剤を
飲みやすい錠剤
に変更したり、さらには、
ゼリー状や液状
にして飲みやすく工夫



苦みの強い
薬の味を、
苦みを抑えた味
にして
飲みやすく工夫

＋安心してお使いいただけます！

ジェネリック医薬品は、法令に基づく厳しい審査を受けて開発・製造・販売されており、その品質保証基準は新薬と同じですので、安心してお使いいただけます。



ジェネリック
医薬品

規格試験

溶出試験

生物学的
同等性試験

安定性試験

先発医薬品との同等性を確認！

承認！



豆知識

政府が運営するオンラインサービスの「マイナポータル」を使って、自身の薬剤情報を確認することができるようになりました。また、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、医療機関等の窓口で支払う金額の削減可能額も確認することができるようになりました。

＋安くて家計に優しい！

ジェネリック医薬品の値段は、開発期間が短く費用が抑えられるため、安く設定されています。一度に長期間のお薬や複数のお薬を処方されると、ご負担いただく一度の窓口負担額も高額となりますが、ジェネリック医薬品に切り替えていただくことで、お薬代の軽減が可能です。



高血圧症、糖尿病、脂質異常症の薬を
1年間飲んでいる方の薬代を比較すると

先発医薬品

24,346円

ジェネリック
医薬品

11,480円

差額
12,866円

※金額は薬代（3割負担）のみを計算した場合です。
※薬の種類によって価格が異なります。

1年間使うと、
こんなに
経済的なんだ！



＋ジェネリック医薬品の切替効果！

船員保険では、平成24年度から、ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減額をお知らせする取組みを実施しています。

お知らせをお送りした方のおよそ4人に1人がジェネリック医薬品に切り替えていただいたことから、単純推計すると約8.4億円の財政効果が得られたこととなります。また、加入者の皆様の窓口負担額としても一人当たり月額 **約1,668円が減額** されたこととなります。

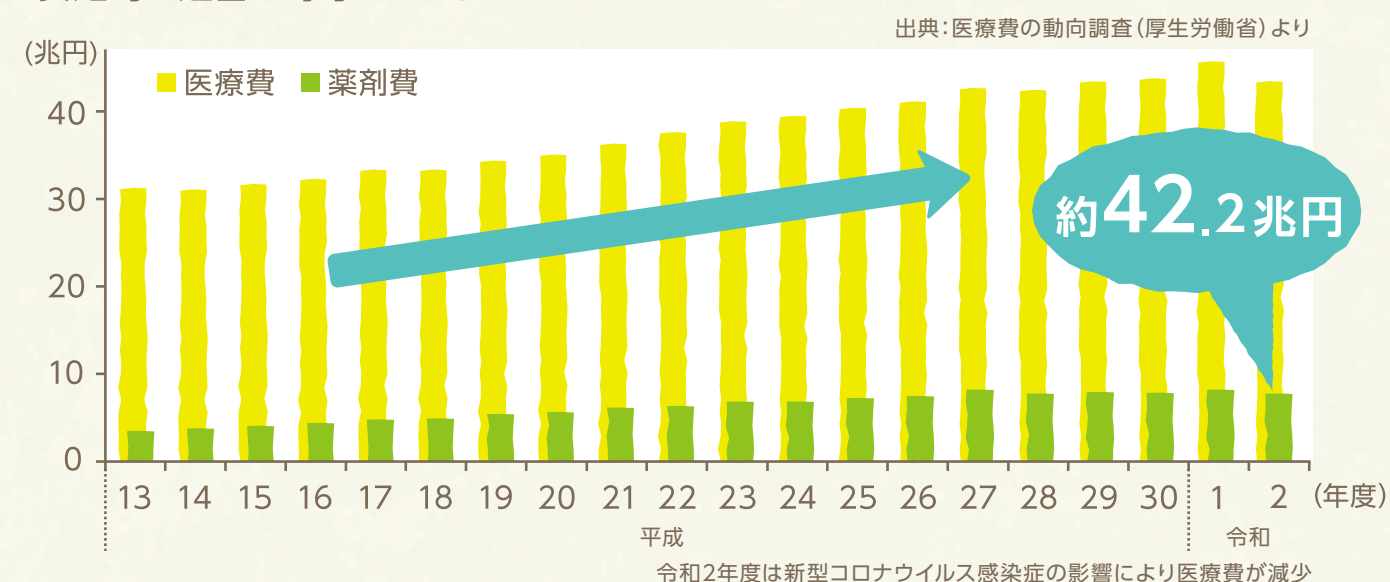


豆知識

ジェネリック医薬品の「ジェネリック」とは、英語で「一般的な」という意味を持つ言葉です。欧米では、医師が薬を処方する際に、後発医薬品をジェネリック医薬品と呼んでいます。これが、世界共通の呼称となり、日本でもジェネリック医薬品と呼ぶようになりました。

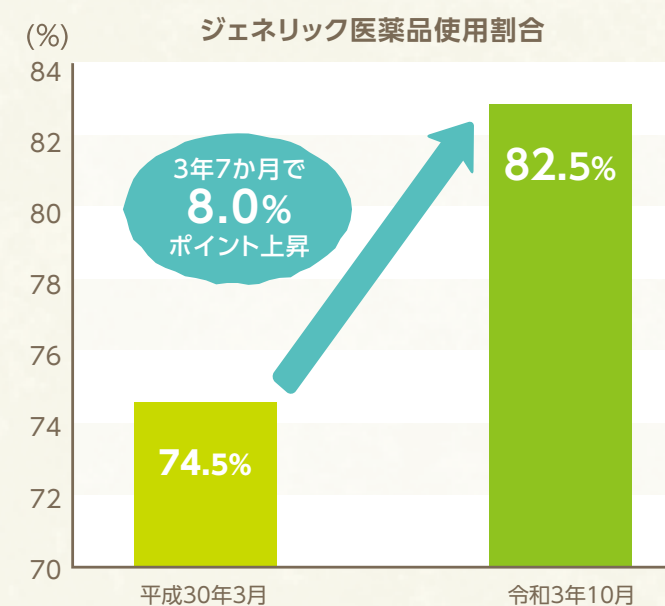
＋ジェネリック医薬品で医療保険制度を未来へ！

日本の医療費は年々増加し、令和元年度は平成30年度より **約1兆円** 増加しています。ジェネリック医薬品の使用は、一人一人の自己負担軽減だけでなく、医療費・薬剤費の削減につながり、将来にわたる医療保険制度の安定的な運営に寄与します。



＋こんなに使われているジェネリック医薬品！

船員保険における令和3年10月時点のジェネリック医薬品使用割合は数量ベースで **82.5%** となっており、約2万9千人の方にご利用いただいています。まだご利用でない方は、**ジェネリック医薬品への切替え**をご検討ください。



そんなに
使われてるんだ!!



豆知識

政府は骨太方針2021にて、ジェネリック医薬品の数量シェアを、2023年度末までに全ての都道府県で80%以上とする目標を掲げました。また、品質の向上と安定的な供給を目的として、民間企業と協力しつつ製造体制や市場流通品の監督・検査などの取組に乗り出しました。